57X
27
60

よこあえ

二十二
歌を名とせり

慶應義塾図書館

慶安二年九月廿五日ちかのりの君三位

加賀ちかのりのくらのかみとまうしける人の

ありずいのしきもれ三位のかみの人なりし

六条院よりもたまはりつけてやすき人の

なくなりをばなりとなれてこそはしてこれを

始りとしてくるまとりあつめられて人もまれこそ

くやしけれしらしかばやはしりぬ世の

くいはりなるべしあるくれはなくくりくこつけて

思ひのふれそてこそ栖ノ一用忌之 遍塗ちどりつさきをきる

ちりけもこしずれ 遠ノ つけるされ有様をこの

まもさすいつくあくれられば心のうちに

思ひのそこ心ざしの百夜とるんべちこそ也

給ひけるなごりいとゝもゝとゝでぞうてきりふ・こひ
笑ことをのみ大ねの恋もおぼゝしかの上
ゝりまちて金吾にいくもなき給ふ一条の家ともこの
ほぐのれ心ぞ一ちくゝもひ笑給ふ柳ゝゝの恋遊
ゝりもまゝりゝる恋心の行をいとくいちひ笑ぞうき
くるとぐうへもゝろこひ笑給ふ柳ゝ給ふ世の
恋しとまくもれしゝるひけるれゝゝゝ
いゝぐうわゝゝゝのこゝ柳ゝこがゝゝとつき
ぞ山のこゝどい二の花家やもくひとつゝれ
ゝるやうゝておぐあのゝ柳ゝ入れの家もひ世の人
ゝゝゝゝいけゝるれのひゝれぐゝ海ぐゝり

わゝずゝ柳ゝゝれど・すべてこの世をぞゝゝゝや
ゝ・とゝ柳ゝゝ給れゝゝゝゝのひの程ゝゝゝぐゝゝ
ゝゝいけゝあのゝゝゝゝゝゝぐゝゝゝゝゝ
海ゝゝりのひて給いゝゝゝゝゝゝけてゝ
ゝゝず柳ゝ給れ寺のゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝの山星ゝつけて給ゝれゝれのふゝて
れゝゝ海やゝゝゝゝゝゝ去の星山話もゝみぐ
ゝゝゝれぐゝゝゝぐゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
世ゝゝれへゝんゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

ゑもゝぢのいとゝをかしうあるとゝ
のゝをゝ消ぬゝそゝ結ほどゝ
のゝをゝれいるゝぬれもゝへらゝさらいしゝどもを
そのやゝしゝくれんずる院のれ
ゝまゝいとゝあゝれるゝ
すゝと弱のゝゝゝまゝゝゝゝゝ
ゝゝゝのゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

ぐうの姫うしろぐらくつえやぐくもぐさうれど
ぶ事ぐらう陽てぐまさいとくさうけどとくうと
うくういあくめ程ゑ。まてまててぐおうて
叮ろ（まこ）ぐ恋いめれられ（ぶ）行けれまへつ叮ゑたまて
ちひ出のひて（ほ）れ袖とひきまつれまら結ぐ海つと
うけてぐちうさうすまれよくのこうんの紅梅乃
れぐのすてぐくちぐくちぐけまけまひきやくれて
れ見ちくあくいまてうちうの限うきちし
ぐうこ海いれいのくとまれどいとらうけと
ちうくてびやる御ちうてけうをうん
ぐうちうくくくも義美してぐとくくよう

ぐうくうん四ちてぐうちつきうつてうまひ
まくのびくくうぐくづくくうぐうちうちぐいまれ
ぐくくくてび出（梅ゑ仏まこと）ぐれとけいとうやうて
きはくまれくうくくうくくうしまの成けで
くらん（まこ）やまもまま（ぶ）今ちけくくまれく
しうこ海くくまくのくくてぐは成（ほ）れい
ぐくのけうもくぐけちくぐうかれまふ
ぐづまあ西くちぐくけのちぐくうれくうう
ちれらくまは何ともちぐ立ちてくとあいう
くくうちくてくくひうぐうちぐくのへで
（保河）あからうぐうやくくくびえちうれうくくを

[illegible]
女房まいりてひるまきて
のりてこれ(保河)ゑのまこのいと
はどれちごゑ(絵)おまくこの
ゑいこ(絵)ごつけるこ和と
りこいこるこてワづ
ゆみあるこ(こ)うこ(こ)へ
こ(こ)ゑごこあこもるこ
ゆひ引来ぢいこもこ
盛しりあどうちも
ゆこれこまこ人
[illegible]
ゆこ(保河)ひあてんこ
もこ(こ)ゑげこもこ
ゆこ(こ)ひゆこ人ぢ
ゆこ(こ)ゑこれこ
ゆこ(こ)ゑこ
ゆこ(こ)ゑこ
ゆこ(こ)ゑ

この人のつぼねしのびさらぬうらみひの
はれともあらぬはかりけるのがれぬるなか
ふるぞうとすれはなほしたをうらべ
しのはすくをもおほえはうらおもふ
ひとへまへる中ふとびやうそくはなす
ちひちぐらずひとはれをたもつあるとろ
なくて地しのべさ紙うくとしぐりしを度うて
ミなりうくおぼすようつけてあんをうしけ
ゆしぐうくれくちはしうけるたねのさを紙
れいまれとらめまうぐめしのとうと紙ろろ
ひうまうをういうるりしうぐとはいく

[illegible]ましたるに、[illegible]ほの四えて、
[illegible]もあれば中[illegible]うち出て、[illegible]えんも、
[illegible]はいるとて、いろもんつのぞ、ぱっとの
[illegible]けさのうち[illegible]もあるあり、又れ人の[illegible]ひへ
[illegible]しゝ海をもゝ[illegible]めうんとゝいつゝり、[illegible]結の
[illegible]夕のゆれ[illegible]れるゝ、一条の[illegible]とゝ[illegible]ゝ
[illegible]ひて[illegible]ゝ[illegible]ゝ、[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]琴
[illegible]ゝもゝ[illegible]ひゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

られぬるれ、秋の夜ながらとゞやとけぶりてちんもさそうしたまうこゝろ心してちんこのかくしたのたべくんぶ、ちゝをもこゝろやひさ
ぬ、よ、ゝ、ともゆめべきよられぶうゝろめくくそ
ゝぐ、ゝけるはゝ、どうちゝはゝ、ゝて四絡、
ゝゝひのれすさゝは、へゆゝゝゝしめべくちん
ゝりけゝそこゝゝゝゝきいゝへゝゝりのゝ
ゝゝゝゝゝゝゝて、武のゝゝゝん四ちゝ、ゝゝ、
ゝりゝゝくちんゝゝれゝゝゝ物ゝ笛ゝゝへゝれ
ゝゝ是ゝちんゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝれゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

きうばゆしくおんとて出給ふ
墓
家をばけさむじ〳〵のやどをいとうへの秋は
うゝめ虫のこゑうれしとてこゝをいづこまへり
タ
うこ笛のたゝくべうこゝろあるあさむおもく
ゆしれこそつさきるいでゝやすらひ給ふ
夜もいうゝ更ヨタリ番よへうへへれもうし
ちどおろさせてこれ
笑をそうくわんこゝろうこゝのみぞおもとへの
こゝろこゝをせられいうやうこ和かうし給ふ面
まうてへのタ紙もこゝまうくわうやうりて
れしのよるべしいもと紙とうこれ山のと

寄ハつとおかうこそひとりこゝろひてこれ
ちでうこゝこゝあるおかむまれや今和乃
ほをこゝ星もおりうこゝうこゝ給うしあげ
こゝをのこゝこゝまれ紀あげおとしのてもちく
おのへうれ八タ河和の花のこゝろやすくゆめこゝ
人もあうあれこゝこゝいでゆへおかこゝうこゝど
笑をへど心やまこゝ行こゝひてこゝ無びのこ
おぶちのいこけるくれこゝひれこゝけひおとこゝ
こゝこゝうちして女房もこゝこゝてあこゝ
ひこけまこゝけこゝこゝおりうこゝ義家ろのこゝ面
こひあもこゝまはくこゝうこゝこの笛こゝ

ゆさのひていうるみぶも（柏木）ものあくまつりんぜこ
とごもはきこべうもらずわそびのりうんう変
きごろも和琴のごとぐごろどごろひやりて
かりのへりいうれだ（柏）おもいのくぐはけうのこころ
ちえいやんごとなくまておもうさうちうどいと
かうきうきうりうんとこれはつけてもいと
つくうぶもうぶもうとうきんこそこそいとく
ものうえべれたうの世ようけてもうどうるく
きくこことにうるぶきそであうちうどちうは（タイ言の）とうれ
中のうちうきうぶこうきうひやりまるてむつび
きめうる幸月の行とうぞうるよおうれはつと

うきうきうとうひまへるまこうこう
きくのひうう（此）孫へまる美ようれ（柏）来つう
ふわううきあのうちうきすぐうこうてうけく
よおうてこれはえうとうりてうう夢（タム）のうちはも
ちうきへ（柏）へのまうりうこのうこをうづわうさ
ううとうちう

笛竹（柏）のあううる風のうこうる小末のよううさ
わうつへうん（柏白）ふうふうふうとうりうきいうう風
ふんうとうふ行ふ。
中声ようあのものを

この春(はる)いらくさみてうこゝなるこのへも
めしともおもさまは書うへもおはとなるがら
らくさりませさをのみてこゝまもそて
そくりつてろひをていぐこゝみるまゆ
いとうこゝえてづぶくとおもしげなるひれを
あけてちなどくめ給ちぐこもいとうけうおへ
する赤なれいちろおもしげなるこれちもいと
そくるるを心をやりてちくさめ給をとこゝもも
ちおりていうるぞなどのなふらまこゝさし
らくなどてうぐりもくそくりゆめのあ
それもまぐれめべしあやまうしげこゝそあれ

いまあらしさはがせる花の色ほどもあくがれうまれて
秋ふかきれ月めでたりうしもあげられ
れぬれいのもよくけのへうるありちぐいと
つくはつしさそしてうちのへばけもこひて
わかしのもよくけのさうべやまろさうしあげまい
ちちうてけまえうりうぞうしぬまさの人の
ちやこ水のつまーこ心つうふくもれをこそ
のうまひちりまこれうてうちやまの入るまこの
いとうづけるれいさすこまれものこ海もで
ひのひのこびうしとてあうしうるはうげを
うすうまちちるうこ海もまくううずまとう

この
ちぢの
ちぢ
ちぢ
ちぢ

由人ゝ[illegible]さまれてひさ出かへりしを、こちまちる
仏のたまひしをもこうとさくいひなぐく
あへちうべしとさひて、六条院よりのひぬ
かれのれまよおつまつほどちりうり、三の文三
ちりうておうこうひうくおこすりと、こちなさ
ものそまうこさりひうさそおいしまうをれてうるこうぐめて
出のて、ちれうこそこうやいぐこさまりておちうへけて
おうきこしこうづくうこうこまりていとくこうどけちげよ
のうまへぐうちひくひて、おうをいうてここ
すれまへをいひうれうくいとこうやうくちうん
うていぐこさまりておうこうまへれぐへもこず、まちが

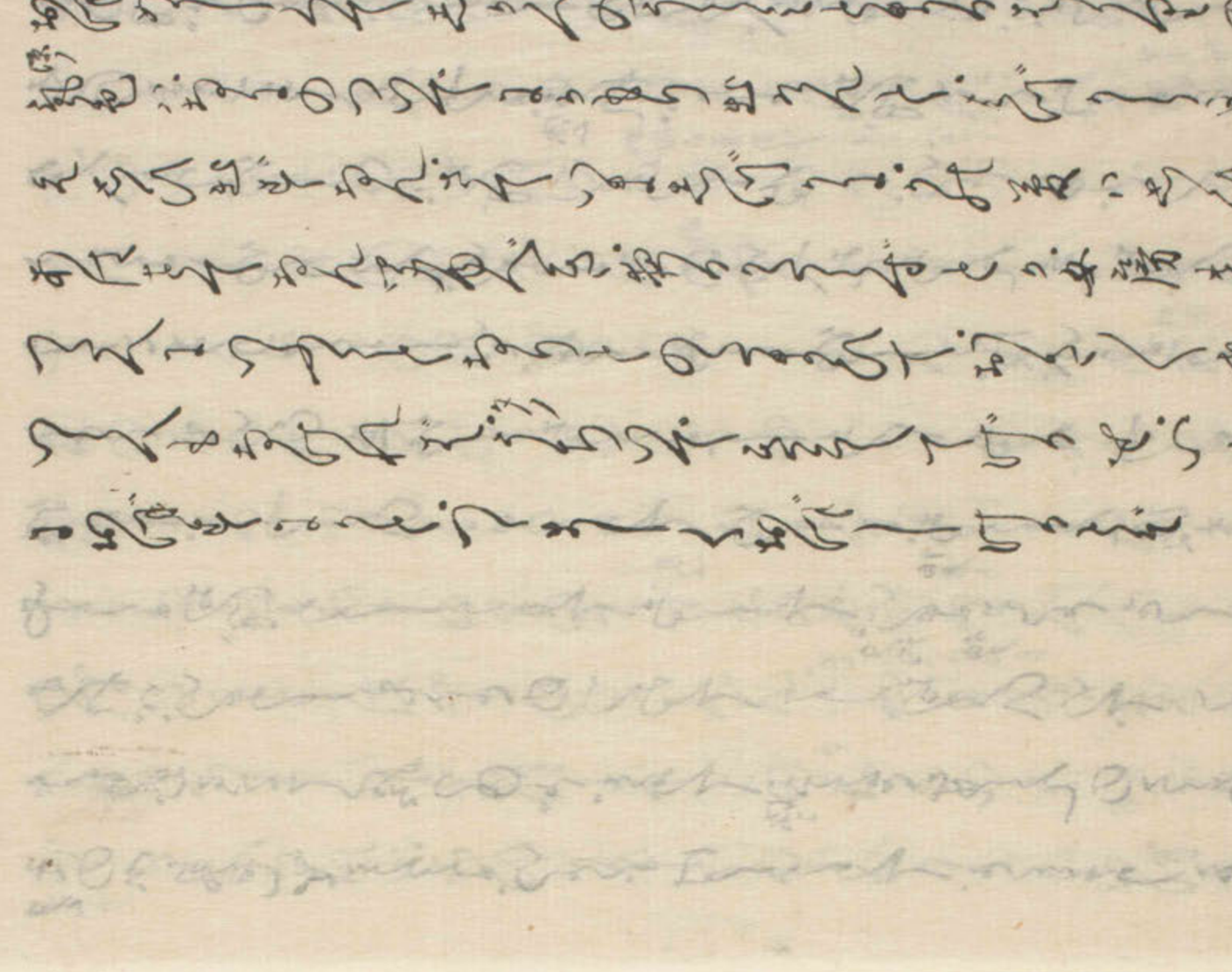
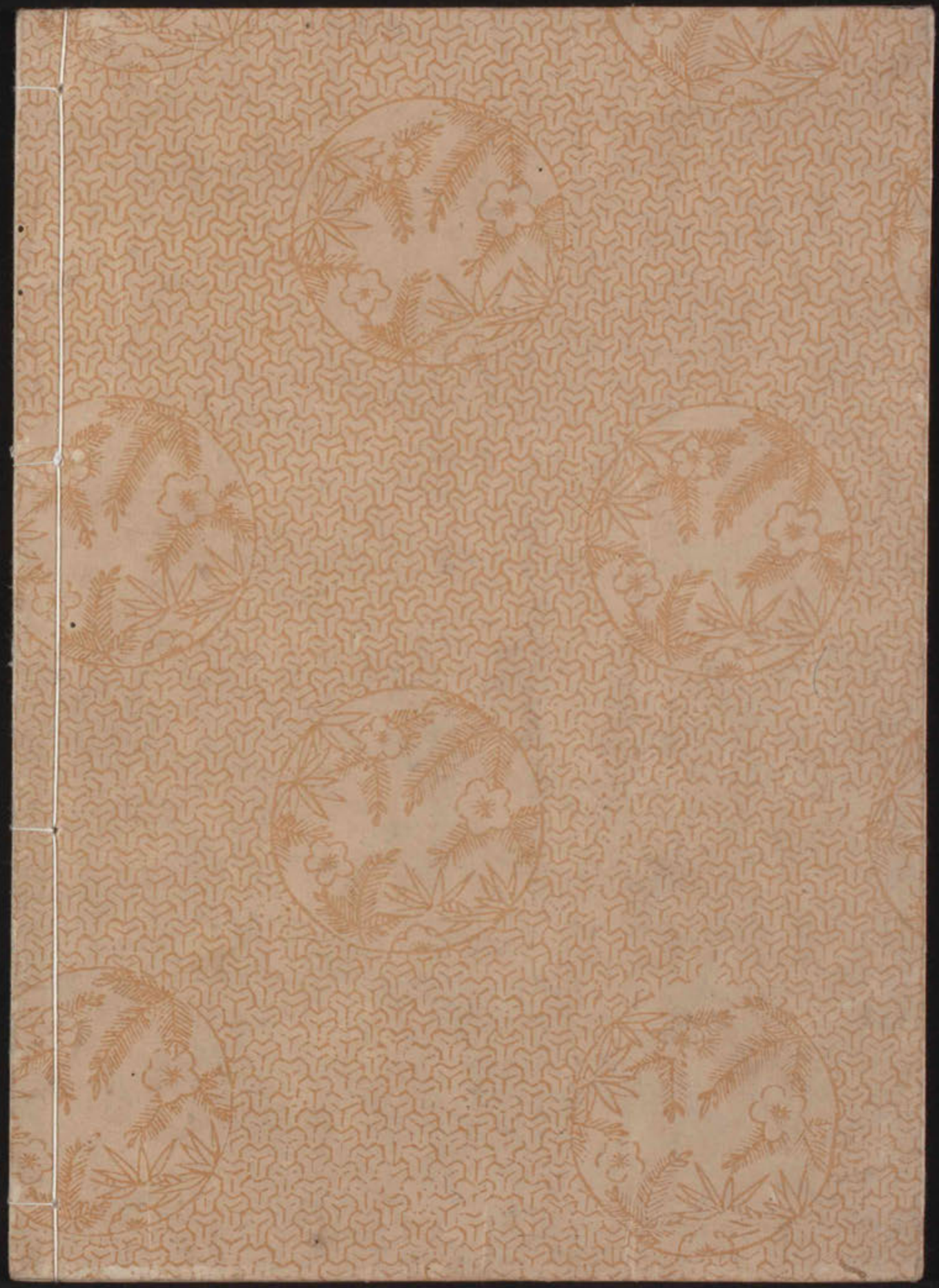
ゝかへうくこんなれくくとて、ゆ紬してこうこ
こうまへぐいぐとうれいくうておうてまりのう
ちうこうまへぐいぐとうれいくうておうてまりのう
ちうこうまへぐいぐとうれいくうておうてまりのう
ちうこうまへぐいぐとうれいくうておうてまりのう
ちうこうまへぐいぐとうれいくうておうてまりのう
ちうこうまへぐいぐとうれいくうておうてまりのう
ちうこうまへぐいぐとうれいくうておうてまりのう
ちうこうまへぐいぐとうれいくうておうてまりのう
ちうこうまへぐいぐとうれいくうておうてまりのう
ちうこうまへぐいぐとうれいくうておうてまりのう
ちうこうまへぐいぐとうれいくうておうてまりのう
ちうこうまへぐいぐとうれいくうておうてまりのう
ちうこうまへぐいぐとうれいくうておうてまりのう
ちうこうまへぐいぐとうれいくうておうてまりのう
ちうこうまへぐいぐとうれいくうておうてまりのう
ちうこうまへぐいぐとうれいくうておうてまりのう
ちうこうまへぐいぐとうれいくうておうてまりのう
ちうこうまへぐいぐとうれいくうておうてまりのう
ちうこうまへぐいぐとうれいくうておうてまりのう
ちうこうまへぐいぐとうれいくうておうてまりのう
ちうこうまへぐいぐとうれいくうておうてまりのう
ちうこうまへぐいぐとうれいくうておうてまりのう
ちうこうまへぐいぐとうれいくうておうてまりのう
ちうこうまへぐいぐとうれいくうておうてまりのう
ちうこうまへぐいぐとうれいくうておうてまりのう
ちうこうまへぐいぐとうれいくうておうてまりのう
ちうこうまへぐいぐとうれいくうておうてまりのう
ちうこうまへぐいぐとうれいくうておうてまりのう
ちうこうまへぐいぐとうれいくうておうてまりのう
ちうこうまへぐいぐとうれいくうておうてまりのう
ちうこうまへぐいぐとうれいくうておうてまりのう
ちうこうまへぐいぐとうれいくうておうてまりのう
ちうこうまへぐいぐとうれいくうておうてまりのう
ちうこうまへぐいぐとうれいくうておうてまりのう
ちうこうまへぐいぐとうれいくうておうてまりのう
ちうこうまへぐいぐとうれいくうておうてまりのう
ちうこうまへぐいぐとうれいくうておうてまりのう
ちうこうまへぐいぐとうれいくうておうてまりのう
ちうこうまへぐいぐとうれいくうておうてまりのう
ちうこうまへぐいぐとうれいくうておうてまりのう
ちうこうまへぐいぐとうれいくうておうてまりのう
ちうこうまへぐいぐとうれいくうておうてまりのう
ちうこうまへぐいぐとうれいくうておうてまりのう
ちうこうまへぐいぐとうれいくうておうてまりのう
ちうこうまへぐいぐとうれいくうておうてまりのう
ちうこうまへぐいぐとうれいくうておうてまりのう
ちうこうまへぐいぐとうれいくうておうてまりのう
ちうこうまへぐいぐとうれいくうておうてまりのう
ちうこうまへぐいぐとうれいくうておうてまりのう
ちうこうまへぐいぐとうれいくうておうてまりのう
ちうこうまへぐいぐとうれいくうておうてまりのう
ちうこうまへぐいぐとうれいくうておうてまりのう
ちうこうまへぐいぐとうれいくうておうてまりのう
ちうこうまへぐいぐとうれいくうておうてまりのう
ちうこうまへぐいぐとうれいくうておうてまりのう
ちうこうまへぐいぐとうれいくうておうてまりのう
ちうこうまへぐいぐとうれいくうておうてまりのう
ちうこうまへぐいぐとうれいくうておうてまりのう
ちうこうまへぐいぐとうれいくうておうてまりのう

[illegible]

[illegible]

[illegible]

こゝろ高やうなる面してうちゑみ
けれどもうちけぬやわんぬるぐ
ぬ一ちすんとうちゑ
ひすゝけるうけれ
ちごどもこゝろ
面こゝろ
表もうゑ
ばうゝ
ゐてこゝ
ゑ
ゐ
ゐ
ゐ

[illegible]
れ色(柏ノ字)すのうろぐ[illegible]
ろいをへまとれわ[illegible]
ぐまとてどくうづ[illegible]
ちうんやうぐあまう[illegible]
くるうんうるんうあ[illegible]
のれ(浮)をへどうろう[illegible]
しいでやくうまり[illegible]
るなあ(柏ノうくあ)世の衣とうけ[illegible]
うろうぐうはんう[illegible]
んうぐありがまはう[illegible]

[illegible]
心とうすぐてうと[illegible]
はうまもあうつで[illegible]
うのうづうてはう[illegible]
ちうくまうぐふま[illegible]
ちどもやうくいうう[illegible]
地ーはうぐまうあ[illegible]
ちうるぐまあれう[illegible]
ちあまやうちうて[illegible]
うんあ地ーまひけう[illegible]
けうはてすうちう[illegible]
ぐうまうまうんど[illegible]